

経鼻弱毒生インフルエンザワクチン（略称：LAIV，商品名：フルミスト®）について

【フルミストのメリット】

- ① 痛みがない
- ② 年1回の接種で完了；
 - 従来の注射型ワクチンは13歳未満では2回接種が必要ですが、フルミストは1回で済みます。

【フルミストのデメリット】

- ① 風邪のような症状が出ることがあります；
 - 約60%で鼻閉・鼻汁、10%以上で咳や咽頭痛、1～10%で下痢や腹痛、発熱が見られます。
 - 接種して数日後にインフルエンザ様症状を呈した場合に、抗原検査を受けるとワクチンウイルスが検出され、インフルエンザと診断される可能性があります。
- ② 接種前後で、タミフルなどの抗インフルエンザ薬の使用を控えていただく必要があります。
 - 抗インフルエンザ薬の使用により、フルミストの効果が減弱する可能性があります。
 - 過去48時間以内にタミフル®やリレンザ®、過去17日以内にゾフルーザ®を使用された場合は接種できません。

【注意点】

- ① 接種対象者は2歳～19歳未満です（当院では6歳～19歳未満が対象です）。
- ② 医師が必要と認めた場合には、他のワクチンと同時に接種できます。
- ③ 以下の方は接種できません。
 - 明らかな発熱や急性疾患を有している方
 - 鼻閉がある方；
 - 効果が不十分となる可能性があるため、症状が改善してからの接種をお勧めします。
 - 重症喘息、および喘息のコントロールが不十分な方
 - 免疫機能が低下している方；
 - 免疫不全症患者、無脾症患者、免疫抑制剤使用中
 - 妊婦、および妊娠を予定している方；
 - フルミストを接種する場合、あらかじめ約1か月間避妊した後に接種し、ワクチン接種後約2か月間は妊娠しないように注意が必要です。
 - ミトコンドリア脳筋症患者
 - ゼラチンアレルギー、および重度の鶏卵・鶏肉アレルギーを有する方
 - 中枢神経系の解剖学的バリアー破綻がある方；
 - 人工内耳を埋め込んでいる、内耳の先天性形成不全、持続的な脳脊髄液の交通など
 - アスピリン系薬剤、ジクロフェナク、メフェナム酸を内服中の方
- ④ 経鼻弱毒生インフルエンザワクチンは飛沫又は接触によりワクチンウイルスの水平伝播の可能性があるため、接種後1～2週間は乳児や免疫不全患者との接触を避けてください。
 - 授乳婦の方には、従来の注射型ワクチンをお勧めします。